

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
教育相談(カウンセリングを含む)	講義	2	藤井裕子

記載不要

【授業のテーマ及び到達目標】

テーマ:子どもへの多面的な理解を深め一人一人の成長をきめ細かく支える

到達目標:

- 1、保育や学校教育の場における教育相談の意義と方法を理解し説明できる。
- 2、教育相談を行う際の基本的知識(カウンセリングを含む)を学び実践できる。
- 3、幼児・児童・生徒の不適応や問題行動に気づき適切な支援に結び付ける方法を実行できる。
- 4、教育相談の具体的な進め方や組織的な取り組み、保護者との連携について学び実践できる。

【授業の概要】

社会の変容とともに子どもの問題は多様で複雑になっており、今まで以上に一人一人に向き合うことが重要である。本講義では幼児・児童・生徒が自己理解を深め、よりよい人間関係を築きながら適応的に生活する力や子どもの人格の成長を支援する理論と実践力を身につける。教育相談に関する意義や基礎的知識を学び保育や学校教育の場で実際に応用できるようになる。

【全体の授業計画・内容】

- 1、オリエンテーション、教育相談の意義と役割、カウンセリングへの理解、
【事前学習】教育相談の意義に関する配布資料を読みまとめる(0.5時間)
【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5時間)
- 2、教育相談の基本的知識、保育や学校の場における教育問題の現状と課題、
【事前学習】教育相談の基本に関する配布資料を読みまとめる(0.5時間)
【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5時間)
- 3、教育相談と生徒指導、共通点と相違点
【事前学習】教育相談と生徒指導の共通点と相違点に関する配布資料を読みまとめる(0.5時間)
【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5時間)
- 4、教育相談におけるカウンセリングの活用(1)基本的な応答技法
【事前学習】教育相談の応答技法に関する配布資料を読みまとめる(0.5時間)
【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5時間)
- 5、教育相談におけるカウンセリングの活用(2)共感的理解、質問の方法、支持的応答
【事前学習】教育相談の応答の方法や質問の意義に関する配布資料を読みまとめる(0.5時間)
【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5時間)
- 6、教育相談の実際(1)子どもの心理的不適応、情緒不安
【事前学習】子どもの心理的問題に関する配布資料を読みまとめる(0.5時間)
【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5時間)
- 7、教育相談の実際(2)登園しぶり、不登校、
【事前学習】不登校に関する配布資料を読みまとめる(0.5時間)
【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5時間)
- 8、教育相談の実際(3)問題行動、非行問題

<p>【事前学習】問題行動に関する配布資料を読みまとめる(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>
<p>9、教育相談の実際(4)いじめに関する問題</p> <p>【事前学習】いじめ問題に関する配布資料を読みまとめる(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>
<p>10、教育相談の実際(5)発達障害を抱える子どもへの支援</p> <p>【事前学習】発達障害と特別支援教育に関する配布資料を読みまとめる(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>
<p>11、保護者支援の実際</p> <p>【事前学習】保護者相談の意義と実際に関する配布資料を読みまとめる(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>
<p>12、教育相談の組織内体制への位置づけ</p> <p>【事前学習】組織としての体制づくりとその意義に関する配布資料を読みまとめる(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>
<p>13、専門機関との連携、協働</p> <p>【事前学習】教育相談センターなど専門機関に関する配布資料を読みまとめる(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>
<p>14、緊急支援時における教育相談</p> <p>【事前学習】事故や災害等の緊急教育支援に関する配布資料を読みまとめる(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>
<p>15、振り返りとまとめ</p> <p>【事前学習】全体を振り返り資料の不足や質問についてまとめる(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容全体を各自のノートに総合してまとめる(0.5 時間)</p>
<p>【学習のあり方】</p> <p>テーマによってはロールプレイやグループディスカッションを行い、主体的な学習を促す。</p>
<p>【成績評価】</p> <p>定期試験:レポート(50%)</p> <p>平常試験:筆記試験およびレポート(50%)</p>
<p>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】毎回リアクションペーパーを用い学習状況を確認し、次回の講義で解説を行い質疑応答に対応する。</p> <p>提出されたレポートはコメントをつけて返却する。</p>
<p>【テキスト】</p> <p>特になし、毎回、資料配布する</p>
<p>【参考文献】</p> <p>文部科学省「生徒指導提要」</p> <p>本間友己、内田利広「はじめて学ぶ生徒指導・教育相談」金子書房</p>
<p>【実務経験の有無】教育委員会のスクールカウンセラーおよびスーパーバイザーとして勤務、東日本大震災等における緊急支援教育活動、教員や保育者研修の講師</p>